



東通村と都市部との交流事業 2016

第2弾 ～東通村のわらしを訪ねる会～



浮間小を歓迎する越善村長

7月29日(金)から7月31日(日)にかけて、東通★東風塾(山崎孝悦塾長)が主催する「東通村と都市部との交流事業2016」東通村のわらしを訪ねる会」が開催されました。

これは、東京都北区立浮間小学校の5年生が、東通小学校5年生を訪ね、3日間ホームステイしながら電気の生産地である東通村での生活や、東通村が誇る第一次産業を体験する事業です。ホームステイ先は、6月に浮間小学校を訪ねた東通小学校5年生の家庭で、お互いの子ども達は、およそ2カ月ぶりの再会となりました。

初日、東通村役場で行われた入村式で、越善靖夫村長から「東通村の自然・海の幸・山の幸を満喫して、思い出深い3日間にしてください」と歓迎された子供たちは、場所を東通小学校に移して交流会を行い、東通小学校や東風塾の若手が考えたゲームなどで東通村のわらし達と交流を深めました。交流会後は、それぞれのホームステイ先家族と一緒に尻屋崎を訪れるなどして3日間を過ごしました。

奥島農園(大利)では、ブルーベリー摘み取り体験の他にも、毎年続けている苗木の植樹を行いました。13年続く交流事業の成果で、浮間小学校のブルーベリー園もすっかり大きくなっています。

最後に、山崎塾長が「この体験は皆さんの人生の中で必ず役に立つ。東通をふるさとだと思っても遊びにくければいい」と語りかけ、新幹線に乗る浮間小学校のわらし達を見送りました。



先輩が植えたブルーベリーを摘み取り



漁船でのカゴ漁も体験



牧場まつりで東通牛のBBQも堪能